

実施学年	3年	実施教科 (科目)	社会	実施日	H24. 10. 17
単元名	現代の民主政治 市長になって考えてみよう				
本時の内容 (項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 架空の市の市長の立場から企業跡地の活用について考える学習活動を通して、政治への興味・関心を持つ。</li> <li>● 政治が身近なものであることや、主権者として政治に積極的に参加することが大切であることに気付く。</li> </ul>				
本時の目標	架空の市の市長として、都市計画を考えることを通して、政治への関心をもつ。住民の要望と予算・租税の関係に気づき関心をもつ。				
授業場所	3-5教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他( )	ICTの主な 活用者	教師・生徒		
活用するICT 機器	パソコン・電子黒板・webカメラ				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	<p>国税庁の学習ゲームで、市の土地利用を考える中で、住民の要望と、予算の中でできること。できないこと。財源としての税や公債について学習する。</p> <p>自分たちのイメージを発表することを通して、ICTを活用したプレゼンのあり方、情報発信のあり方を学ぶことができる。</p>				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	<p>交流の場面で、プリントの出典を明らかにすることで、情報モラル・マナーについて理解させる。</p> <p>発表の場面で、自分たちの理想の街のイメージと、その根拠をわかりやすく伝えられるよう、ペンや電子黒板の拡大機能の活用など、表現方法を工夫させる。</p>				
利用するコン 텐츠名・サ イト等	国税庁 学習ゲーム みんなで話合って街をつくろう！				
参考にしたサ イト・文献 等	<p>国税庁 HP</p> <p><a href="http://www.nta.go.jp/osaka/shiraberu/gakushu/machigame/index.htm">http://www.nta.go.jp/osaka/shiraberu/gakushu/machigame/index.htm</a></p>				
事前の準備	国税庁 HP から、各班への配布用に、何も入っていない土地の図と、設置できる施設の一覧のプリントを作成しておく。				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>導入： 大垣市の航空写真と、事前調査した大垣市への要望を提示する。→ 実際に市長だったら理想の街は作れるのだろうか？ 課題：架空の市の市長となって、自分の理想と思う街をつくってみよう。</p> <p>展開： プリントをもとにグループで理想の街のイメージを考える。 →グループで交流しながら、何を置くのか、どうしてそれが必要なのかを考えて、グループの案を作る。説明できるようにしておく。</p> <p>全体で、電子黒板を使って各グループのイメージを発表する。</p> <p>まとめ 発表が終わったら、各班のイメージを入力し、ソフトで評価を受ける。 →どうしても予算が足りず、すべての要望が果たせない。そういうときに、増税や公債の発行ができるが、住民の負担が増えるのは当然問題である。市町村は私たちの要望を受けながら、私たちからの税金の範囲で予算をつくり、政治を行っている。</p>	<p>（※情報モラルの指導内容）</p> <p>※国税庁 HP からの参照であることを伝えながら、出所の明示の重要性を示す。</p> <p>※電子黒板でペンや拡大機能を使いながら発表できるように援助・助言を行う。</p>
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国税庁 HP からの参照であることを伝えながら、出所の明示の重要性を示す。</li> <li>・ 電子黒板にイメージを写しながら、ペンや拡大の機能を使いながらわかりやすく説明できるように、技術的な援助・助言を行う。</li> </ul>	
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<p>積極的に理想の街のイメージを交流することができていた。</p> <p>電子黒板に映しながら発表をする中で、「消防署がないから危険だ」とか「ごみ処理施設がないから、街が汚くなる」など具体的な意見の交流ができた。</p> <p>やりたいことと予算の関係を、実際に体験することで、政治の大変さを実感することができた。</p>	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>準備が大変だったが、電子黒板を使って説明したり、交流したりする中で、根拠をもって交流ができた。また、全員が電子黒板で目に見える形です示されている状態で交流をできたので、学びの足場が共有された分かりやすい交流にできた。</p> <p>国税庁のゲームを利用したが、自分たちが市長・市議会の一員になったという実感をもち、予算や税の大切さに気づくことができていた。</p>	

今後の課題	毎時間こういう形での実践をするにはかなりの負担がかかるが、電子黒板に映して学びの足場を共有しながら交流することは大きな効果が期待できるので、できる限り授業の中に位置付けていきたい。教師が説明するのにつかう電子黒板という状態を、生徒も活用する電子黒板にしていきたい。
-------	--

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。